

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

社会

人権尊重

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人材育成

従業員の健康と安全

サプライチェーンマネジメント

CSR調達の推進

品質と安全の確保

お客様満足の上

企業市民活動

ガバナンス

サプライチェーンマネジメント

基本的な考え方

ニコンは、「調達先とニコンは、ともに社会に役立つ製品・ソリューションをつくり、提供するためのパートナー」と考え、調達パートナーと相互理解を深め、信頼関係を築くよう努力し、共存共栄をめざします。また、この考え方をもとに「ニコン調達基本方針」を掲げ、誠実で公正な資材調達を行っています。

ニコン調達基本方針（概要）

パートナーという考えに基づく調達

1. 持続可能な企業活動

2. 門戸を開放した調達

3. 公正な競争に基づく調達

Web

ニコン調達基本方針

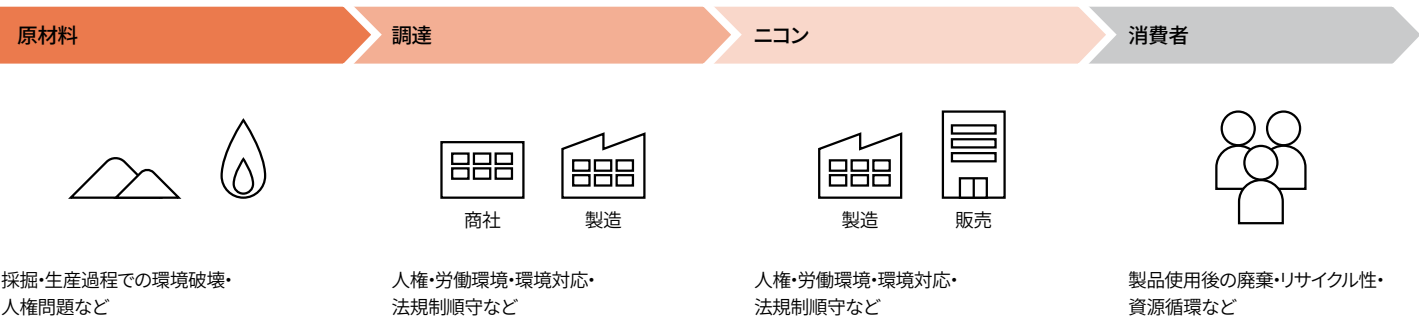
ニコングループのサプライチェーン

ニコングループは、グローバルに約2,590社の直接取引を行っている調達パートナーがいます。さらに、その先に、二次や三次の調達先が多数存在し、原材料をはじめ、電子部品、メカ部品、ユニットなどの部品を調達しています。

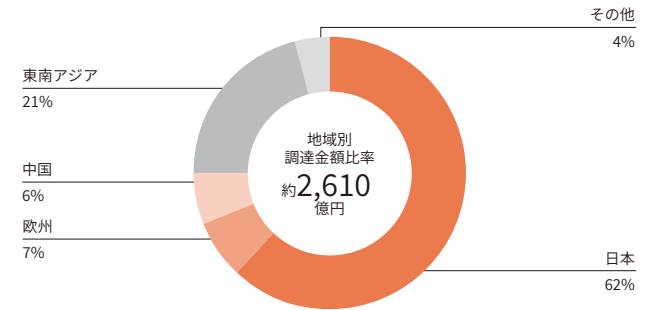
ニコングループの海外生産拠点では、従業員を現地で採用するとともに、品質（Q）・コスト（C）・納期（D）を確保するために、生産拠点のある国・地域から原材料や部品などを積極的に調達しています。現地の調達パートナーには、ニコングループの各種

基準の遵守を求め、改善支援を行っています。これによって調達パートナーが企業力を向上し、新たなビジネス機会を創出しているよう、長期的な視点で取り組んでいます。

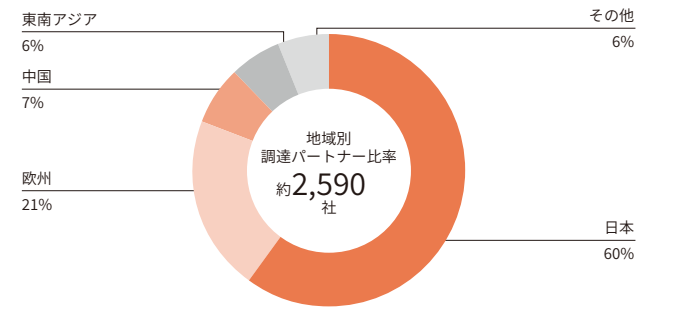
● サプライチェーンのイメージと各段階におけるリスク



● 地域別調達金額比率



● 地域別調達パートナー比率



CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

社会

人権尊重

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人材育成

従業員の健康と安全

サプライチェーンマネジメント

CSR調達の推進

品質と安全の確保

お客様満足向上

企業市民活動

ガバナンス

戦略

リスク

サプライチェーンにおける主なリスクとして、グローバル規模の異常気象や自然災害、地政学的緊張や国際紛争、感染症の拡大などが挙げられます。これらの事象により部品の需給バランスが大きく崩れ、エネルギーや原材料価格が変動することで、供給体制の不安定化を招き、事業機会の損失や業績への影響が生じる可能性があります。

特に、ニコングループのサプライチェーンは地震発生リスクの高い日本が大きな割合を占めており、災害発生時にはBCP体制が十分でない調達パートナーからの安定調達が困難となることで、製品の市場供給に支障が生じる恐れがあります。

また、人権・労働環境・安全衛生・環境への配慮といった社会的課題への関心が高まる中、サプライチェーンでの対応の不備や取り組み不足が判明した場合、ブランドイメージの毀損やステークホルダーからの信頼の低下につながるリスクも存在します。

機会

サステナブルな社会の実現に向けては、ESGの観点を踏まえた調達活動や、調達パートナーとの協働による責任あるサプライチェーンの構築が不可欠です。

これにより、供給の安定化、コスト効率化、資源やエネルギー使用の削減、製品やサービスの差別化などの成果が期待できます。

ニコングループは、サプライチェーンの安定性を高めながら環境や社会に配慮した調達を進めることで、持続的な事業成

長を実現します。同時に、ステークホルダーやお客様からの信頼を強化し、ブランド価値の向上をめざします。

戦略

調達パートナーとの強固な信頼関係を基盤に、急速に変化する事業環境や社会課題、サプライチェーン上のさまざまなリスクに柔軟かつ的確に対応できる仕組み・体制の構築を進めています。

具体的には、有事発生時におけるサプライチェーン上の事業リスクを最小限に抑え、迅速な対応と事業継続を実現するために、調達パートナーのリスク評価を実施しています。BCP体制の把握を行い、体制構築が不十分なパートナーに対しては支援を行うことで、リスク耐性の強化を図っています。

また、サプライチェーンにおける人権・労働環境・安全衛生・環境などの社会的リスクを特定し、防止・軽減するために、調査票を用いた調達パートナーアセスメントを実施しています。リスクが高いと判断した調達パートナーには第三者監査を行い、改善支援を通じて課題の是正を促しています。加えて、リスクが顕在化した際に迅速かつ適切に対応するため、効果的な救済メカニズムの構築・運用を行っています。

これらの取り組みを通じて、ニコングループは常に健全で持続可能なサプライチェーンを構築します。サプライチェーンの安定化による持続的な事業展開を実現し、社会的価値の創出と企業としての責任を果たすことで、ステークホルダーやお客様からの信頼をより一層強化し、ブランド価値の向上にもつなげています。

ガバナンス

ニコングループでは、調達パートナーとともに持続可能な調達を推進するため、サステナビリティ委員会の傘下に「サプライチェーン部会」を設置しています。

同部会は、執行役員である生産本部長の監督のもと、調達・物流統括部長が部会長を務め、サステナビリティ部門長、各事業部の品質保証部門・調達部門などの部門長、グループ会社役員などで構成されています。同部会は、年2回開催され、サプライチェーンに関するリスクおよび機会の管理、レジリエントなサプライチェーン構築に向けた活動報告や計画の審議を行っています。

また、本部会の傘下には従来の「サステナブル調達推進会議」（毎月開催）、「グリーン調達推進会議」（年2回開催）に加え、新たに「調達品質連絡会議」（年2回開催）を設置しました。この新設により、調達プロセスにおける品質管理を一層強化する体制が整いました。各傘下の会議では、本部会での報告・審議内容に関する事前協議を実施し、各事業の調達部門や関連部署、製造事業所の管理部門などと連携して、レジリエントかつ持続可能なサプライチェーン構築に向けた具体的な活動を推進しています。

● サプライチェーン部会

部会長：調達・物流統括部長

副部会長：同統括部サプライママネジメント部長

部会員：サステナビリティ戦略部長、各事業部の調達・品質保証担当部長、各グループ会社役員

● サステナブル調達推進会議

議長：サプライママネジメント部長

議長代理：同部管理課長

委員：各事業部および各グループ会社のESG推進担当者

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

社会

人権尊重

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人材育成

従業員の健康と安全

サプライチェーンマネジメント

CSR調達の推進

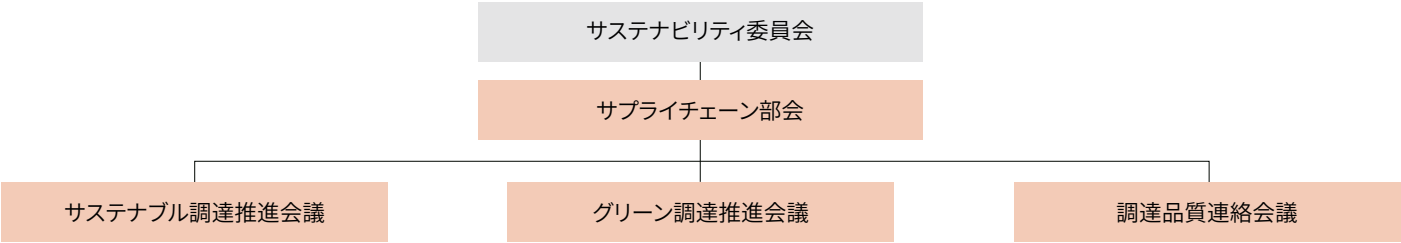
品質と安全の確保

お客様満足の向上

企業市民活動

ガバナンス

● サプライチェーン管理体制図



● グリーン調達推進会議

議長：サプライヤマネジメント部長

議長代理：品質戦略推進部長

委員：各事業部および各グループ会社のグリーン調達推進委員

● 調達品質連絡会議

議長： サプライヤマネジメント部長

議長代理： 同部サプライヤ品質推進課長

委員：各事業部・拠点・グループ会社の調達部門長および品質保証部門長

厳格に保護され、匿名相談も可能で、通報を理由とする不利益な取り扱いを禁止します。受理した案件は事実調査を行い、問題が確認された場合は社内手続きに則り対応を行うとともに必要に応じて外部専門家等と連携し、是正・再発防止措置を講じます。

新窓口の認知向上と利用促進に向けては、調達パートナーに対し2025年11月に開催したサステナブル調達説明会において制度内容や利用方法を詳細に説明し、相談・通報に関する安心感の醸成に努めました。今後も、年1回の説明会を通じた継続的な周知を予定しています。なお、2025年度の調達に関する通報件数は、従来窓口・新窓口ともに0件でした。



▶ 人権に関する苦情・相談窓口

リスク管理

ニコングループでは、重点的に取り組む調達パートナーの特定プロセスと、CSR調達・責任ある鉱物調達・BCPなどのリスクアセスメントによって、サプライチェーンマネジメントに関す

るリスクを特定しています。それぞれの内容の調査において、その基準を定め、リスクの判定を行っています。アセスメントや特定されたリスクの改善の実施については、各事業部の調達部門や関連部署、各製造事業所の主管部門が中心となり対応しています。

組織横断的なリスクや重要度の高いリスクについては、サプライチェーン部会や傘下のサステナブル調達推進会議において協議し、関係部門と連携して対応の強化やリスクアセスメントの見直しを行っています。また、これらの議論は人権部会とも連携し、経営レベルでのモニタリングと意思決定につなげています。

重点的に取り組む調達パートナーの特定

ニコングループでは、調達金額、調達部品の重要性や代替性などの視点により、後述のプロセスに基づき、重点的に取り組む調達パートナーを特定しています。これらのパートナーに対しては、社会課題に関する各調査を優先的に実施するとともに、事業運営における企業間連携の強化にも取り組んでいます。なお、重点的に取り組む調達パートナーは、ニコングループ全体の調達金額上位80%超のパートナーから選定しており、サプライチェーン全体のリスク管理と責任ある調達の推進において重要な役割を担っています。

重点的に取り組む調達パートナーの特定は、2023～2025年度、2026～2028年度といった3年サイクルで実施し、必要に応じて毎年度見直します。2023年度には、グローバルで247社を重点的に取り組む調達パートナーとして特定しました。その後、M&A等による変更を反映し、2024年度に15社、2025年度に4社を追加で特定しています。これにより、2023～2025年度の重点的に取り組む調達パートナーは、のべ266社となりました。

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

社会

人権尊重

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人材育成

従業員の健康と安全

サプライチェーンマネジメント

CSR調達の推進

品質と安全の確保

お客様満足の向上

企業市民活動

ガバナンス

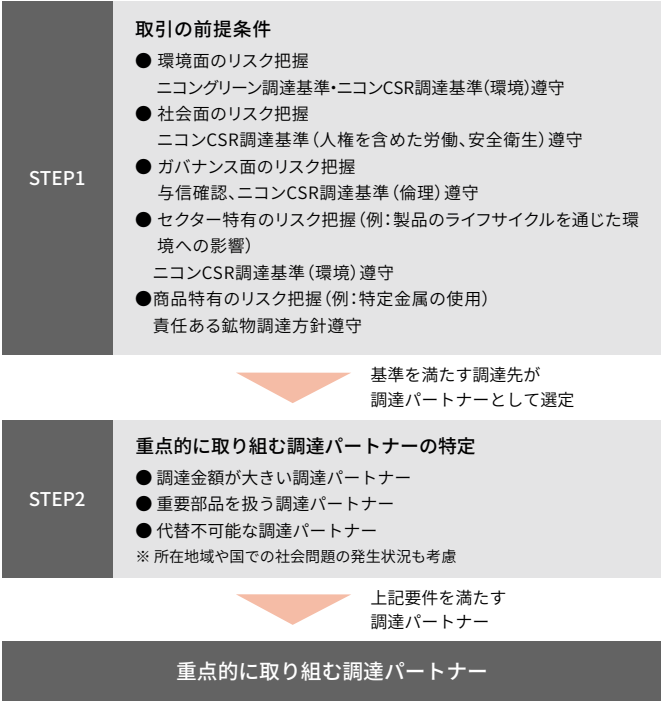
● STEP1

新たに調達先との取引を開始するにあたり、環境面、社会面、ガバナンス面、セクターや商品特有のリスクを把握するために、ニコングループの「調達手続きマニュアル」に則った選定を行います。また、ESGに関しても取引基本契約書の条項に定めています。基準を満たす調達先が調達パートナーとして選定されます。

● STEP2

調達パートナーの中で、調達金額が大きい調達パートナーや重要部品を扱う調達パートナー、代替不可能な調達パートナーを「重点的に取り組む調達パートナー」として特定します。

● 重点的に取り組む調達パートナーの特定プロセス



● 調達パートナー(一次調達先)と重点的に取り組む調達パートナー数

(単位:社)					
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
調達パートナー (一次調達先)	約2,300	約2,250	約2,250	約2,270	約2,590
重点的に取り組む 調達パートナー (一次調達先)	211	211	247	262	266

主な取り組み

調達パートナーとのコミュニケーション

サステナブル調達説明会

ニコングループでは、調達パートナーに対して、調達に関する品質管理やESGの方針、考え方を理解してもらうために、毎年説明会を開催しています。

2025年度は、「サステナブル調達説明会2025」を11月19日、20日、21日の3日間で合計4回実施。日本、中国、タイ拠点の調達パートナーを対象に、オンライン形式で行い、1,034社、1,266名に参加していただきました。参加者の興味関心が多かった内容は、BCP強化やグリーン調達、人権に関連するものでした。

また、ESG推進や品質管理について、柔軟・迅速・レジリエントな対応で貢献された調達パートナーを表彰しました。

調達パートナーの会

ニコングループでは、調達パートナーとのコミュニケーションを密にとり、お互いの関係を強化することが重要と考えています。そこで国内外の主要調達パートナー約160社の代表者を招き、「調達パートナーの会」を毎年開催。ニコンを取り巻くビジネス環

境、事業の概況報告、社長からのメッセージを伝達するなど、トップ層同士でコミュニケーションをとり、リレーションシップ強化を図っています。

このリレーションシップは、ニコングループと調達パートナーとの関係構築にとどまらず、2025年から新たにニコングループがハブ機能を担い、調達パートナー同士の連携機会を創出することで、ニコングループ全体でのサプライチェーン強靱化につなげています。

教育と浸透

ニコンでは、責任あるサプライチェーン構築に向けて、以下のような取り組みを実施しています。

社内教育・研修の実施

調達部門の社員を対象に、各種研修や啓発活動を継続的に実施しています。前年度に引き続き、実務担当者や新入社員などに対し、調達業務の基本とサステナブル調達への理解を深める教育を行いました。これにより、サプライチェーンの安定性向上と、環境・社会に配慮した調達活動への理解促進を図っています。また、調達領域におけるサステナビリティ活動のあるべき姿について、コミュニケーションおよびディスカッションを行う場を設けた研修を調達部門とサステナビリティ部門が共同で実施し、調達担当者一人ひとりの意識向上・啓発の強化にも取り組んでいます。

啓発活動の展開

サステナブル調達説明会と同時に、調達パートナー向けに「責任ある鉱物調達」講演会を開催し、686名にご参加いただきました。本講演会は、毎年実施している調査へのご理解を深めていた

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

社会

- 人権尊重
- ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン
- 人材育成
- 従業員の健康と安全
- サプライチェーンマネジメント
- CSR調達の推進
- 品質と安全の確保
- お客様満足の向上
- 企業市民活動

ガバナンス

だくとともに、各社における自主的なデューディリジェンスを促進することをめざし、初めて調達パートナー向けに開催したものです。また、社員向けにも本講演会のアーカイブ動画を配信したほか、研修プログラムに組み込み、視聴機会を設けました。これらの取り組みを通じ、社内外で責任ある鉱物調達への理解促進と定着を図っています。

寄付活動

コンゴ民主共和国への支援として、認定NPO法人テラ・ルネッサンスが同国で実施する「レジリエンス向上プロジェクト」への寄付を継続しています。この活動は、紛争被害を受けた女性や子どもの支援、ならびに若者などが武装勢力や紛争鉱物関連ビジネスに関与するリスクの低減に貢献するものです。具体的な支援内容は以下の通りです。ニコンの寄付は、これらの活動に対する資金の一部として活用されました。

- 小学生300名へのマラリア予防啓発
- 患者1,000名以上への医薬品提供
- 約500世帯（約3,000名）への給水設備設置
- 脆弱な立場にある子ども231名の通学環境整備
- 紛争被害女性30名への生計維持支援
- 最貧困層の女性76名への洋裁技術指導

調達先のサプライチェーン情報可視化・BCP体制把握

近年、自然災害や地政学的リスクの増大、急激なビジネス環境の変化など、事業継続上の課題が多様化しています。ニコングループでは、これらのリスクに迅速に対応するため、2025年度も調達先のサプライチェーン情報の可視化をさらに推進させるとともに、重要な調達先とは、BCP体制の把握や体制強化支援を通じて、その連携をより深め、サプライチェーン全体のレジリエンス向上をめざしています。

● BCP強化に向けた取り組み

	I サプライチェーン可視化	II 有事調査システム化	III サプライヤー BCP 体制構築
2020年度	・有事調査のために必要な調達パートナー（一次調達先）の拠点情報を調達先情報一元管理システムに登録	・有事の際に調達パートナーの状況把握を効率的に行うためのBCP社内初動インフラ整備	
2021年度		・調達先情報一元管理システムによる有事調査運用開始	・主要調達パートナーに対し、インフラ関係のBCP体制構築状況の調査実施
2022年度	・二次以降の調達先の拠点情報可視化対象拡大（調達パートナーである商社の先の製造拠点）		・主要調達パートナーに対し、インフラ関係以外を含めたBCP体制構築状況の調査実施
2023年度	・重要部材を扱う調達パートナーの二次調達先以降の可視化を実施		・BCP体制構築状況が不十分な調達パートナーへの改善支援実施。調査対象の拡大
2024年度	・重要部材を扱う調達パートナーの二次調達先を含む可視化を実施		・BCP体制構築状況が不十分な調達パートナーへの改善支援実施。調査対象の拡大
2025年度	・重要部材を扱う調達パートナーの二次調達先可視化を実施（対象拡大） ・その他調達先の既存登録情報の情報更新・スクリーニング実施		・BCP体制構築状況が不十分な調達パートナーへの改善支援実施。調査対象の拡大